

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

(別添参考様式2)

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適正な職員配置数で運営を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	入口までの階段や、トイレの段差などは、構造上施設の設備は車椅子等での利用はできない等、十分ではない状況です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			現在、管理者を中心に職員全員で、業務改善を進めるため、日々PDCAサイクルを実施しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		保護者様向けの自己評価表や送迎時に頂いた意見を参考に、業務改善に取り組んでいます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			株式会社ルートのホームページ上で公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、外部評価は行っておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内外、県、各自治体主催の研修などにZOOMなどで積極的に参加しています。これからも職員の質の向上ができるよう努めていきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントに基づき、個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所独自のアセスメントツールを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員全員で話し合い、決定し、実行しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			各利用者の通所日を考慮しながら、日ごとに活動内容を変更しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用時間に応じて、課題の量や各種活動等の調整をしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			平日は、個別活動と集団活動を主に行い、休日や長期休暇には課外活動などを設定しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員全員でミーティングを開催し情報共有や支援内容の確認等を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	職員全員でミーティングを開催し、毎日振り返り等気づいたことの確認と記録での共有を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の支援は施設運営システム(HUG)で記録を残しています。
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか			○	定期的モニタリングを行い、計画の見直しをしています。	

関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		自立支援や創作活動、余暇活動のバランスを見ながら支援を行っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス担当者会議には、管理者及び児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校との行事予定や下校時刻の変更など、事前に確認を取り情報共有に努めています。送迎時にトラブル等が発生した場合は、管理者及び児童発達支援管理責任者に報告し、対応するようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、医療的ケアが必要なお子様の利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	児童発達支援事業所や障害児相談支援事業所等とつながっているお子様については、就学前に情報共有させていただいていますが、全ての利用者ではありません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		卒業の際は、それまでの支援内容の情報等を就労事業所等に引継ぎをするようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	現在、外部との交流の機会は設けておりません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	現在、参加できていない状況です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳記載や送迎時にお伝えするようにしています。事業所での様子がより分かるように、写真なども積極的に取り入れるようにしています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	必要時に個別での対応はさせていただいていますが、今後、要望等を確認し適宜開催していきたいと思えます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		見学时、契約時に説明させていただいています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	支援していく中で、この子にとってどのような関わりをしたらよいかの情報共有をしています。社内で情報共有の上、必要と判断すれば、相談支援事業所や学校、他事業所等と連携を図っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	各家庭事情を配慮して、保護者会の活動は行っていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		現在、苦情に関して意見をいただいた場合の流れを職員間で再認識するとともに、迅速かつ適切に対応し、支援員全員で周知徹底を心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		今月から、日々の活動の概要や行事予定など、保護者との情報の共有や保護者に対しての日々の支援の発信などができるような体制をとりました。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報管理には細心の注意をはらっています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用者の特性に合わせて、絵カードや個人のブック、コミック会話他、意思伝達ツールを使っています。保護者の方には、連絡帳への記入や分かりやすく説明するなど情報伝達を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在、外部との交流の機会は設けていません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルに関しては、職員間では必ず目を通すようにしています。保護者様への周知が行き届いていないため、早急に対応させていただきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			地震や火災を想定した避難訓練の実施をしています。利用者様が曜日によって違う為、日々訓練していきたいと思えます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			県主催の虐待防止・権利擁護研修への参加や社内でも月1回虐待防止委員会を開催しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在、身体拘束を行う可能性のあるお子さまの利用はありませんが、必要に応じ、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載するようにします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者の方からのアレルギーの確認しか出来ていません。食べ物の中で含まれている物がある場合は、保護者の方に確認して出すようにしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット記載時には、全員が確認するようにし、リスクマネジメントを心がけています。